【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2001-522097(P2001-522097A)
【公表日】平成13年11月13日(2001.11.13)
【出願番号】特願2000-519371(P2000-519371)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　17/30　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　17/30　　４１９Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成17年10月18日(2005.10.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　検索要素を含みさらにドキュメント階層に組織されている、ドキュメント保管庫に記憶されたドキュメントの検索方法であって、
一組の検索要素を記述する論理機能になっている検索表現を検索エンジンに提供するステップと；
複数のドキュメントをリンクする階層におけるパスとして表現されている複数のドキュメントにわたる合致の少なくともひとつのリストを生成するステップと；及び
検索結果としてリストを出力するステップと
を含むことを特徴とする方法。
【請求項２】　前記検索要素が言語およびドキュメントであり、そして少なくともいくつかのテキストを含むことを特徴とする請求項１に記載した方法。
【請求項３】　さらに、直接的な合致または間接的な合致を検索するステップを含み、そこでは、直接的な合致は前記検索表現に合致するドキュメントであり、また間接的な合致は、前記間接的に合致するドキュメントの内容が前記階層における前記間接的に合致するドキュメントの先祖ドキュメントの内容と結ばれている時に、前記検索表現と合致するのみのドキュメントであることを特徴とする請求項１に記載した方法。
【請求項４】　前記検索のステップが、前記検索表現の構成要素を要素索引で検索するステップを含むことを特徴とする請求項１に記載した方法。
【請求項５】　階層トリーにおける各ドキュメントに、その階層トリーのどの分岐内でもドキュメントナンバーが連続するように、ドキュメントナンバーを指定するステップを含むことを特徴とする請求項１に記載した方法。
【請求項６】　前記検索表現は演算子および運算記号を含む式であり、該演算子は詳述された検索要素又はワイルドカードを含み、該運算記号はＡＮＤ、ＯＲ、ＡＤＤ、又はＭＩＮＵＳを含むことを特徴とする請求項１に記載した方法。
【請求項７】　ドキュメントが明確に示された題目を表わしているストリングであり、前記階層は題目の階層であることを特徴とする請求項１に記載した方法。
【請求項８】　各データ要素は階層上の位置をもち、さらにその位置の上位に先祖のデータ要素あるいはその位置の下位に子孫のデータ要素またはその両方をもつように、データ要素を階層に組織するステップと；
前記データ要素のデータ要素ナンバーが、いかなる先祖のデータ要素のデータ要素ナンバーより大きく、かつ前記先祖のデータ要素の子孫ではなくまた前記先祖のデータ要素ナ

ンバーより大きいデータ要素ナンバーをもついかなる他のデータ要素のデータ要素ナンバーより小さいように、各データ要素に対しデータ要素ナンバーを指定するステップと；及び
前記データ要素の内容が検索表現に単独で合致する時、検索表現が直接的に合致され、さらに前記データ要素は直接的に合致しないが、前記データ要素の内容及び少なくともひとつの先祖のデータ要素が検索表現に共同で合致する時に間接的に合致されるとするように、検索表現に直接的あるいは間接的のいづれかで合致するデータ要素を鑑定するために前記階層に検索表現を適用するステップと
を含むことを特徴とする階層のデータを効率的に記憶し検索する方法。
【請求項９】 検索要素を含む、ドキュメント保管庫に記憶されたドキュメントの検索方法であって、
ドキュメントをドキュメント階層に手動で組織化するステップと；
検索可能な要素のセットを説明する論理関数である検索表現を、検索エンジンに提供するステップと；及び
検索の前記ステップの結果から、少なくとも一つの合致のリストを生成するステップと；
を含み、複数のドキュメントにわたる合致は、前記複数のドキュメントをリンクする、前記階層におけるパスとして表現され、
前記リストを検索結果として出力するステップ、
をさらに含むことを特徴とする方法。
【請求項１０】 直接的な合致、又は間接的な合致を検索するステップ、
をさらに含み、直接的な合致は、前記検索表現に合致するドキュメントであり、また、間接的な合致は、前記間接的に合致するドキュメントの内容が、前記階層における該間接的に合致するドキュメントの先祖ドキュメントの内容と結ばれている時に、前記検索表現と合致するだけのドキュメントである、
ことを特徴とする請求項９に記載の方法。
【請求項１１】 各ドキュメントは、カテゴリ、及びサイト参照の一方を表していることを特徴とする請求項９に記載の方法。
【請求項１２】 ドキュメントがカテゴリを表している場合には、前記ドキュメントはタイトルを含み、かつ、前記ドキュメントがサイト参照を表している場合には、前記ドキュメントは、タイトル、及びユニフォームリソースロケータ(URL)の一方を含む、
ことを特徴とする請求項９に記載の方法。
【請求項１３】 階層データを記憶し、検索する方法であって、
データ要素を階層に組織化するステップ、
を含み、前記階層は、各データ要素が該階層内に位置を持ち、さらに、前記位置の上位に一又はそれ以上の先祖データ要素を持つ、又は前記位置の下位に一又はそれ以上の子孫データ要素を持つ、あるいはその両方を持つように、ツリー構造を有し、
前記階層に検索表現を適用して、該検索表現に、直接的又は間接的のいずれかで合致するデータ要素を特定するステップ、
をさらに含み、前記データ要素の内容が、単独で前記検索表現に合致する時、該検索表現は直接的に合致され、かつ、前記データ要素が直接的には合致しないが、前記データ要素の内容、及び少なくとも一つの先祖データ要素が、共同で前記検索表現に合致する時、該検索表現は間接的に合致される、ことを特徴とする方法。
【請求項１４】 前記データ要素を組織化するステップが、編集スタッフによって、手動で実施される、ことを特徴とする請求項１３に記載の方法。
【請求項１５】 各データ要素が、カテゴリ、及びサイト参照の一方を表す、ことを特徴とする請求項１３に記載の方法。
【請求項１６】 データ要素がサイト参照である場合には、該データ要素は、前記階層内で先祖データ要素のみを持つ、ことを特徴とする請求項１５に記載の方法。
【請求項１７】 データ要素がカテゴリである場合には、該データ要素が、一又はそ

れ以上のサイト参照、あるいは一又はそれ以上のカテゴリ、あるいはその両方を、子孫データ要素として含む、ことを特徴とする請求項１５に記載の方法。

【請求項１８】　前記階層ツリーの如何なる枝の中のデータ要素番号も連続しているように、該階層ツリー内の各データ要素に、前記データ要素番号を割り当てるステップ、をさらに含むことを特徴とする請求項１３に記載の方法。